

■一般目標（GIO）

無歯顎の患者の口腔内と同様の三次元的関係に位置付けられた無歯顎模型上で全部床義歯を製作するために、その理論的背景、技術および製作方法を修得する。

■到達目標（SBOs）

- ・全部床義歯の構成要素を説明できる。
- ・全部床義歯の維持、安定および支持について説明できる。
- ・模型上の解剖学的ランドマークを列挙できる。
- ・全部床義歯の製作方法を説明できる。

■教科書：最新歯科技工士教本 有床義歯技工学（医歯薬出版）

■参考資料：無歯顎補綴治療の基本（財団法人 口腔保健協会）

■授業時間：木曜日 18：00～18：45）

■オフィスアワー：浦田 健太郎 木曜日・17：00～18：00

■成績評価：定期試験（90％）と平常試験（10％）で評価する。

■注意事項：ノート，教科書を持参すること。

■授業方法：スライドを用いて講義を行う。授業時間内に平常試験を1回行う。

■準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。平常試験を行うので復習をすること。

■準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。

■実務経験：浦田 健太郎：現在，日本大学歯学部歯科補綴学講座に在籍しており，日々の臨床経験をもとに歯科医療における歯科技工士の役割について講義を行う。

■関連教科：有床義歯技工学（全学年），顎口腔機能学（1・2年），全部床義歯技工学実習（1・2年）

■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回 10月2日 浦田 健太郎	1. 有床義歯技工学概説 (教) pp. 1-6	・有床義歯技工学の意義と目的を説明できる。 ・有床義歯の種類を列挙できる。 ・有床義歯の特徴と適応症を列挙できる。
第2回 10月9日 浦田 健太郎	2. 生体についての基礎知識 1) 形態的基礎知識 (教) pp. 7-12	・有床義歯技工に伴う生物学的事項を列挙できる。 ・機能的および審美的基礎知識を説明できる。
第3回 10月16日 浦田 健太郎	2. 生体についての基礎知識 2) 機能的基礎知識 3) 審美的基礎知識 4) 有床義歯技工に伴う生物学的事項 (教) pp. 12-16	・有床義歯技工に伴う生物学的事項を列挙できる。 ・機能的および審美的基礎知識を説明できる。
第4回 10月23日 浦田 健太郎	3. 全部床義歯の特性 (教) pp. 19-23	・全部床義歯の構成要素を説明できる。 ・全部床義歯を分類できる。 ・全部床義歯の維持、安定および支持について説明できる。
第5回 11月6日 浦田 健太郎	4. 全部床の製作順序 (教) pp. 25-27	・全部床義歯の製作順序を説明できる。
第6回 11月13日 浦田 健太郎	5. 全部床義歯の印象採得に伴う技工作業 (教) pp. 28-40	・模型上の解剖学的ランドマークを列挙できる。 ・個人トレーの目的と製法を説明できる。 ・研究用模型と作業用模型の製法を説明できる。
第7回 11月20日 浦田 健太郎	6. 全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業	・咬合採得の目的を説明できる。 ・咬合床の役割と製作に必要な作業用模型の処理

授業日・担当者	講 義 項 目	学 修 到 達 目 標
	1) 咬合床製作のため作業用模型の処理 2) 咬合床の製作 (教) pp. 41-55	を説明できる。
第 8 回 11 月 27 日 浦田 健太郎	6. 全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業 3) 全部床義歯に用いられる咬合器 4) 作業用模型の咬合器装着 5) 咬合器の調節 6) ゴシックアーチ描記装置の取り付け (教) pp. 41-55	・ 作業用模型の咬合器への装着方法を列挙できる。 ・ ゴシックアーチ描記法の目的と描記装置の取り付け方法を説明できる。
第 9 回 12 月 4 日 浦田 健太郎	7. 全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成 (教) pp. 41-55	・ 人工歯排列の機能的・審美的な基礎知識を説明できる。 ・ 人工歯の種類と特徴、選択方法を説明できる。 ・ クリステンセン現象と調節湾曲、咬合様式を説明できる。 ・ 前歯部と臼歯部の人工歯排列方法を説明できる。 ・ 歯肉形成の目的を説明できる。
第 10 回 12 月 11 日 浦田 健太郎	8. 全部床義歯の埋没と重合 (教) pp. 81-88	・ 埋没の種類と方法を説明できる。 ・ 義歯床用レジンの重合法の種類と特徴を説明できる。 ・ 全部床義歯の埋没、流蠟および重合を説明できる。
第 11 回 12 月 18 日 浦田 健太郎	9. 全部床義歯の咬合器への再装着、削合および研磨 (教) pp. 89-102	・ 咬合器再装着の方法を説明できる。 ・ 人工歯の削合の目的と方法を説明できる。 ・ 研磨の目的と方法を説明できる。
第 12 回 1 月 8 日 浦田 健太郎	10. 修理 11. リベースおよびリライン (教) pp. 232-249	・ 破折と破損の原因を列挙できる。 ・ 修理方法を説明できる。 ・ リベースとリラインの目的を説明できる。 ・ リベースとリラインの方法を説明できる。
第 13 回 1 月 22 日 浦田 健太郎	12. オーバーデンチャー (教) pp. 250-253	・ オーバーデンチャーの目的を説明できる。 ・ オーバーデンチャーの種類を列挙できる。
第 14 回 1 月 29 日 浦田 健太郎	13. 金属床義歯 (教) pp. 254-263	・ 金属床義歯の利点と欠点を列挙できる。 ・ 金属床義歯の製作法を説明できる。
第 15 回 2 月 5 日 浦田 健太郎	14. その他の有床義歯 15. まとめ (教) pp. 266-271 「平常試験」①, 解説	・ 後期で学んだことを復習し、第 1 回～15 回までの講義内容を再確認し、理解度を深める。